

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

首都圏父母懇談会報告 市ヶ谷キャンパス



副実行委員長 原岡 麗子 (望美 / 法学部)

10月6日(日)に、市ヶ谷キャンパス首都圏父母懇談会が開催されました。前日の暑さから一転、雨で肌寒い日でしたが、事前申し込みを上回る多くの保護者が来場されました。

本年度は大内山校舎が完成し、未来に向かう開放的な市ヶ谷キャンパス・ライフを保護者にも体感してもらいたいという思いの込められたイベントでした。

学生企画では、キャンパスツアー、漫画研究会による似顔絵サービス、アカベラサークルBeat!とマンドリンクラブの演奏が彩りを添えてくれました。



キャリアセンターによる就職個別相談会、教授から直接話を聞ける学部学科別懇談会、「つとむ」でのランチ体験。

験が今年も好評で、今回のテーマ「きて、みて、体感市ヶ谷キャンパス・ライフ」を体現することができました。

薩摩ホールでは、齋藤勝学生センター長による講演「最近の学生の課外活動と生活トラブルについて」が行われました。学内外での事例を基に、わが子にも起こり得るリスク、親としての責任について再認識させられる内容を、面白くも熱くお話しいただきました。

大学による説明会「就職活動の現状とキャリアセンターの対策」では、多くの保護者で会場が埋め尽くされ、熱心に耳を傾けている姿が印象的でした。

最後にご協力をお願いした大学職員の皆さま、ご来場いただいた保護者の皆さまに心より感謝申し上げます。

首都圏父母懇談会報告 多摩キャンパス



実行委員 金子 裕子 (真澄 / 社会学部)

10月19日(土)、多摩キャンパスにて首都圏父母懇談会および学生主体の自主法政祭が開催されました。

多摩丘陵の豊かな自然と調和し、機能的にゾーニングされた開放的な多摩キャンパスには、経済・社会・現代福祉・スポーツ健康の4つの学部があり、抜群の学習環境と充実したスポーツ施設を有しています。

東京ドーム17個分の広大な敷地で、無料循環バスを利用して自由見学や学生スタッフによるウオータツアー、体育館と図書館では教職員による案内が行われました。



個別相談や学食体験は、大

学生生活を知るよい機会になったと好評でした。全体会では、田中優子総長による講演「江戸を使いこなそう!」が行われました。研究者としての田中総長の講演に、多くの保護者が興味深く耳を傾けていました。

キャリアセンターからの直近の就職状況の説明や学部別懇談会では、就職活動の紹介に熱心に聞き入る様子が印象的でした。

懇親会では、保護者と大学関係者が交流を深めました。応援団の「若き日の誇り」「チャンス法政」の演舞は素晴らしく、参加者全員で校歌を斉唱し、会は盛況のうちに終了しました。

ご来場くださった保護者の皆さま、ご指導ご協力を賜りました大学関係者の皆さまに心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

◆台風19号の影響により、小金井キャンパスの首都圏父母懇談会は中止となりました◆

「東京六大学野球応援記」 オレンジパワーを満喫



後援会総務 清水 伸行 (智洗 / 情報科学部)

10月5日(土)、東京六大学野球秋季リーグ、法政大学の第5戦が行われました。血の法明戦と呼ばれるこの戦いに勝ち、優勝に一步近づきたいところです。この日はH.S.Cの応援日です。明治神宮球場は朝早くから、法政大学の学生、OB、関係者、首都圏父母懇談会に合わせて野球応援に來られた各支部の方々に、大変なごわいを見せていただきました。応援団とチアリーダーも試合前から場を盛り上げてます。

先攻の法政大学は、初回ツーアウトから福田内野手と伊藤捕手、毛利外野手のヒットで先制点を挙げ、オレンジに染まった応援席は大いに盛り上がりました。先発の朝山投手は、好調な立ち上がりを見せ、0点で明治大学の攻撃を抑えました。その後、互いに譲らずジリジリとした展開が続く、選手を後押ししようという応援席の熱い思いが一つになっていた7回、西山内野手の見事なスクイズで貴重な追加点を得ました。8回の裏、ノーアウト満塁の

ピンチを迎えたものの、交代した三浦投手が0点に抑える見事なピッチング。三浦投手の勢いは止まらず、9回に明治打線を三者三振に打ち取ったときには、応援席全員が飛び上がって喜び、オレンジ軍団が明治神宮球場に大きく舞う中、ゲームセットを迎えました。

選手、応援席が一体となり、熱い応援ができる六大学野球の楽しさを満喫した一日でした。皆さんもぜひ、このオレンジパワーを体験してみませんか。お待ちしております。



※HSC:法政スポーツコミュニティ(p.25参照)

出雲駅伝の楽しみ方



鳥取・島根県支部長 松原 清二 (尚人 / 経済学部)

10月14日(月・祝)に「出雲全日本大学選抜駅伝競走」の応援に行ってきました。私自身「にわか」ファンですが、出雲駅伝の楽しみ方を紹介します。

今回は、初応援の方(『』はこの方のせりふ)と参加しました。出雲大社の前の「神門通り」では応援合戦が練り広げられ、法政大学応援団の力強い応援を聞きながらの号砲一発、1区のスパートです。

『あれ、法政大学通過した? 見えなかった』はい、そうです。1区は強烈な下り坂で、風と共に一瞬で全選手が通り過ぎます。まさに駅伝の醍醐味です。でもご安心を。6区(最終区)で



も通過するので、同じ場所で応援が2回実施されます。

沿道応援が終わると、次は懇親会。大学三大駅伝でも出雲駅伝は特別で、参加大学関係者が何と約1000人の「さよならパーティー」が開かれます。焼き肉や出雲そば、カニなどの料理もたくさん。『選手や応援団と一緒にテーブルで、楽しい!』そうですよね。選手との会話を楽しみながら、ステージ上の各校の応援合戦を堪能する。これが出雲駅伝です。

この出雲駅伝の参加資格は、1月の箱根駅伝のシード校で、法政大学は3年連続のシード校。選手諸君には、出雲駅伝の応援ができることに感謝しています。

今回の順位はチョッピリ残念でしたが、今回はまだ前哨戦です。目指すは箱根駅。目の前で見た選手が、箱根駅伝で活躍する姿をテレビの前で応援します。選手全員ガンバレ!!

東京六大学野球観戦& 市ヶ谷キャンパスツアー報告



長野県支部副支部長 矢沢 秀弘 (太 / 社会学部)

10月5日(土)、長野県支部11人で東京六大学野球の聖地・神宮球場へ法政大学対明治大学の試合の応援に行ってきました。

スタンドは想像以上に多くの観客で埋め尽くされ、六大学野球の人気を改めて感じました。10月とは思えない30℃超えの暑さの中、応援団、チャアリーダーと共に熱い応援を繰り広げた結果、わが法政大学はピッチャー5人の継投で明治大学を0点に抑え、見事2対0で勝利しました！

翌日の2戦目も2対1で勝利し、法政大学は勝ち点を獲得して秋季リーグ負け無しと絶対調です。このままの勢いで秋季リーグ連覇を果たしてほしいと思います。

翌6日(日)、市ヶ谷キャンパスツアーには9人で参加しました。前日は打って変わり、急激に気温が下がって小雨交じりの天候でした。

キャンパスツアーでは現役の学生がガイドを務め、とても分かりやすく丁寧に説明してくれました。あいにくの

天気でしたが、ポアソナード・タワー26階からの眺望は素晴らしいかったです。学生のためのさまざまな設備が充実しており、ここの学生生活はさぞかし快適だろうなと思いました。

まだキャンパスの建て替え工事は続いていて、進化はまだまだ続きそうです。後援会の皆さま、機会がありましたらぜひ見学に出掛けてみてください。



栃木県支部キャンパス見学& 東京六大学野球応援ツアー



栃木県支部長 高田 弘 (みなみ / 法学部)

10月6日(日)、市ヶ谷キャンパスの見学に総勢23人で参加しました。

富士見ゲート前で集合写真を撮影した後、オープンキャンパスの学生スタッフに校舎を案内してもらいました。都心にある大学らしく、洗練されたおしゃれな内装で、トイレまで見るに値するものでした。ポアソナード・タワー26階からの絶景はいつ見ても素敵です。近々結婚する長女も法政にお世話になっており、以前支部総会のこと、この26階まで私に会いに来てくれたことを思い出し、少し寂しさを覚えました。



その後、カフェテリア「つどひ」でランチをおいしくいただき、神宮球場へ向かいました。第1試合の開始が雨で遅れ、法政の試合もかなり遅れ込みました。これが功を奏



し、プレイボール時には青空も望める絶好の野球応援日和になりました。観るといっても、応援に徹するのが六大学野球観戦。攻めだけでなく、守りのときもさまざまなスタイルの応援があり、日が暮れてくると肌寒いくらいでしたが、それを吹き飛ばす応援の熱気でした。

試合は3回に挙げた2点を守り切る見事な投手リレーで、2対1と逃げ切り、開幕から負け無しの6連勝を飾りました。試合終盤から照明に灯がともり、ナイターも味わえる素敵なお祭りになりました。ご協力いただいた参加者の皆さまには、感謝の気持ちしかありません。ありがとうございました。

「子どもの母校は我が母校」体験記



佐賀・長崎県支部 菊池 伊津子 (遼介 / 経済学部)

10月6日(日)、佐賀・長崎県支部では、首都圏父母懇談会の市ヶ谷キャンパス見学ツアーと東京六大学野球応援に参加しました。

今回からキャンパス見学ツアーは学生による案内となり、私たちのグループを案内してくれた2年生は、自分の生活や授業の様子なども話してくれました。一人暮らしをする中、家族のありがたさを感じることも多々あるようで、親への感謝の言葉も聞かれました。

都会での生活は便利で情報が多いため、自分で選択する力が必要なこと、高校までとは違い、大学の生活は目標がないと見失いがちになるなどを耳にし、子どもたちの思いと現実を知ることができました。



野球応援は、雨のため1時間程遅れて始まり、試合が始まると雨もやみ、後半はナイターとなりました。応援団、チャアリーダー、吹奏楽部の方々の熱心な応援指導に、いつの間にか私たちも一緒に声を張り上げ、法政の学生の気分に。試合の進行どころではなく、応援に精いっぱいでした。



統率のとれた素晴らしい応援にも魅了されましたが、試合終了後の静寂の中でのエール交換も圧巻で、お互いの雄姿をたええる、厳かな静と静のひとときでした。

この日は、学生に戻り、心温まるエキサイティングな体験ができました。皆さんにもぜひ、参加をお勧めします。本部の皆さま、大変お世話になりました。ありがとうございました。

オール法政 箱根駅伝応援のご案内

学生も保護者も卒業生も。一丸となって、日本一の応援を目指しましょう！



法政スポーツコミュニティでは、2020年1月2日(木)、3日(金)に開催される第96回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)の応援を企画しています。皆さまと一緒に沿道をオレンジ色に染めて、選手たちに熱い声援を送りましょう。応援場所は、大手町～箱根～大手町の各所に設定します。法政大学の「オレンジ色のほり旗」が目印です。詳しくは、ウェブサイトをご覧ください(12月中旬以降掲載予定)。

- 日時 2020年1月2日(木) 8:00 大手町スタート(往路)
2020年1月3日(金) 8:00 芦ノ湖スタート(復路)

- 主な応援場所(予定)
大手町、蒲田、生妻、横浜駅周辺、大磯、小田原、箱根 その他

法政スポーツインフォメーション

<http://hosei-sports.jp/>
応援場所やのぼり旗等の
応援グッズ等をご案内。

